



サーバプール

- [サーバプールの設定, on page 1](#)
- [UUID 接尾辞プールの設定, on page 4](#)
- [IP プールの設定, on page 6](#)

サーバプールの設定

サーバプール

サーバプールは複数のサーバで構成されています。これらのサーバは通常、同じ特性を持ちます。それらの特性は、シャーシ内の位置であったり、サーバタイプ、メモリ量、ローカルストレージ、CPU のタイプ、ローカルドライブ構成などの属性だったりします。サーバを手動でサーバプールに割り当てることも、サーバプールポリシーとサーバプールポリシー資格情報を使用して割り当てを自動化することもできます。

システムが組織を通じて、マルチテナント機能を実装している場合、特定の組織で使用されるサーバプールを 1 つ以上、指定できます。たとえば、CPU を 2 個搭載したサーバをすべて含むプールをマーケティング組織に割り当て、メモリのサイズが 64GB のサーバをすべて、財務組織に割り当てることができます。

サーバプールには、システム内のどのシャーシにあるサーバでも入れることができます。1 つのサーバは複数のサーバプールに属することができます。

サーバプールの作成

Procedure

- ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。
- ステップ 2** [サーバ]>[プール]を展開します。
- ステップ 3** プールを作成する組織のノードを展開します。

システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、**[root]** ノードを展開します。

ステップ 4 [Server Pools] ノードを右クリックし、[Create Server Pool] を選択します。

ステップ 5 [Create Server Pool] ウィザードの [Set Name and Description] ページで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	サーバプールの名前。 この名前には、1～32文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。
[Description] フィールド	サーバプールのユーザ定義による説明。 256文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (円記号)、^ (caret)、" (二重引用符)、= (等号)、> (大なり)、< (小なり)、または' (一重引用符) は使用できません。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [Create Server Pool] ウィザードの [Add Servers] ページで、次の手順を実行します。

- [Available Servers] テーブルで、1つ以上のサーバを選択します。
- [>>] ボタンをクリックして、サーバプールにサーバを追加します。
- 適切なサーバをすべてプールに追加したら、[Finish] をクリックします。

サーバプールの削除

Procedure

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。

ステップ 2 [サーバ (Servers)]>[プール (Pools)]>[Organization_Name] の順に展開します。

ステップ 3 [Server Pools] ノードを展開します。

ステップ 4 削除するプールを右クリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。

サーバプールへのサーバの追加

手順

-
- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。
 - ステップ2 [サーバ (Servers)]>[プール (Pools)]>[*Organization Name*] の順に展開します。
 - ステップ3 1つまたは複数のサーバを追加するプールを右クリックして、[Add Servers to Server Pool] を選択します。
 - ステップ4 [Add Servers to Server Pool] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Servers] テーブルで、サーバプールに追加するサーバを選択します。
Shift キーや Ctrl キーを使用すると、複数のエントリを選択できます。
 - b) [>>] ボタンをクリックして、それらのサーバを [Pooled Servers] テーブルに移動し、サーバプールに追加します。
 - c) [OK] をクリックします。
-

サーバプールからのサーバの削除

手順

-
- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。
 - ステップ2 [サーバ (Servers)]>[プール (Pools)]>[*Organization Name*] の順に展開します。
 - ステップ3 1つまたは複数のサーバを削除するプールを右クリックし、[Add Servers to Server Pool] を選択します。
 - ステップ4 [Add Servers to Server Pool] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Pooled Servers] テーブルで、サーバプールから削除するサーバを選択します。
Shift キーや Ctrl キーを使用すると、複数のエントリを選択できます。
 - b) [<<] ボタンをクリックして、選択したサーバを [Servers] テーブルに移動し、サーバプールから削除します。
 - c) [OK] をクリックします。
-

UUID 接尾辞プールの設定

UUID 接尾辞プール

UUID 接尾辞プールは、サーバへの割り当てに使用できる SMBIOS UUID の集まりです。UUID の接頭辞を構成する先頭の桁の数字は固定です。残りの桁で構成される UUID 接尾辞は変数です。UUID 接尾辞プールは、特定のプールを使用するサービスプロファイルに関連づけられた各サーバについて、これらの変数が一意であることを保証して競合を回避します。

サービスプロファイルで UUID 接尾辞プールを使用する場合は、サービスプロファイルに関連付けられたサーバの UUID を手動で設定する必要はありません。

UUID 接尾辞プールの作成

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。
- ステップ 2 [サーバ] > [プール] を展開します。
- ステップ 3 プールを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。
- ステップ 4 [UUID Suffix Pools] を右クリックし、[Create UUID Suffix Pool] を選択します。
- ステップ 5 [UUID サフィックスプールの作成 (Create UUID Suffix Pool)] ウィザードの [名前と説明の定義 (Define Name and Description)] ページで、次のフィールドを入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	<p>UUID プールの名前。</p> <p>この名前には、1～32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Description] フィールド	<p>プールのユーザ定義による説明。</p> <p>256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (円記号)、^ (caret)、" (二重引用符)、= (等号)、> (大なり)、< (小なり)、または ' (一重引用符) は使用できません。</p>

名前	説明
[Prefix] フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Derived] : システムによって接尾辞が作成されます。 • [other] : 任意の接尾辞を指定します。このオプションを選択すると、任意の接尾辞を XXXXXXXX-XXXX-XXXX の形式で入力できるテキストフィールドが Cisco UCS Manager GUI に表示されます。
[割り当て順序 (Assignment Order)] フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。 • [シーケンシャル (Sequential)] : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能な ID を選択します。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [UUID サフィックスプールの作成 (Create UUID Suffix Pool)] ウィザードの [UUID ブロックの追加 (Add UUID Blocks)] ページで、[追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 8 [UUID サフィックスのブロックの作成 (Create a Block of UUID Suffixes)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[開始] フィールド	ブロック内の最初の UUID。
[Size] フィールド	ブロック内の UUID の数。

ステップ 9 [OK] をクリックします。

ステップ 10 [Finish] をクリックして、ウィザードを終了します。

次のタスク

UUID 接尾辞プールをサービスプロファイルとテンプレートのうち一方、または両方に含めません。

UUID 接尾辞プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Manager は、に割り当てられたアドレスを再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みアドレスは、次のいずれかが起きるまで、vNIC または vHBA に割り当てられた状態のままになります。

- 関連付けられたサービスプロファイルが削除される。

- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除される。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられる。

Procedure

-
- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。
- ステップ2 [サーバ (Servers)]>[プール (Pools)]>[*Organization_Name*]の順に展開します。
- ステップ3 [UUID Suffix Pools] ノードを展開します。
- ステップ4 削除するプールを右クリックし、[Delete] を選択します。
- ステップ5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。
-

IP プールの設定

IP プール

IP プールは、用途が初期設定されていない IP アドレスの集合です。IPv4 または IPv6 アドレスのプールを作成する Cisco UCS Manager 以下を実行します。

- サービス プロファイルが関連付けられているサーバーのデフォルトの管理 IP プール **ext-mgmt** の置き換え。Cisco UCS Manager は、サーバーの Cisco Integrated Management Controller (CIMC) で終端する外部アクセスのために、IP プールに IP アドレスの各ブロックを予約しています。サービスプロファイルが関連付けられていない場合は、CIMC 用の **ext-mgmt** IP プールを使用して IP アドレスを取得する必要があります。
- CIMC 用の管理インバンドまたはアウトオブバンド IP アドレスの置き換え。



(注) Cisco UCS Manager では iSCSI ブート IPv6 プールを作成できません。

IPv4 アドレスのプールを作成する Cisco UCS Manager 以下を実行します。

- デフォルトの iSCSI ブート IP プール **iscsi-initiator-pool** の置き換え。Cisco UCS Manager は、指定された IP プールの各 IP アドレス ブロックを予約します。
- 管理 IP アドレスと iSCSI ブート IP アドレス両方の置き換え。



(注) サーバまたはサービスプロファイルのスタティック IP アドレスとして割り当てられている IP アドレスが、IP プールに含まれてはなりません。

IP プールの作成

手順

- ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[LAN]をクリックします。
- ステップ 2** [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Organization Name] を展開します。
- ステップ 3** [IP Pools] を右クリックし、[Create IP Pool] を選択します。
- ステップ 4** [Create IP Pool] ウィザードの [Define Name and Description] ページで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	IP アドレス プールの名前。 この名前には、1～32 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン) 、 _ (アンダースコア) 、 : (コロン) 、 および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。
[Description] フィールド	ユーザ定義による IP アドレス プールの説明。 256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。 ` (アクセント記号) 、 \ (円記号) 、 ^ (caret) 、 " (二重引用符) 、 = (等号) 、 > (大なり) 、 < (小なり) 、 または ' (一重引用符) は使用できません。
[割り当て順序 (Assignment Order)] フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。 • [シーケンシャル (Sequential)] : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能な ID を選択します。

- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Create IP Pool] ウィザードの [Add IPv4 Blocks] ページで、[Add] をクリックします。
- ステップ 7** [IPv4 アドレス ブロックの作成 (Create a Block of IPv4 Addresses)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[開始] フィールド	ブロック内の最初の IPv4 アドレス。
[Size] フィールド	プール内の IP アドレスの数。

名前	説明
[Subnet Mask] フィールド	ブロック内のIPv4アドレスと関連付けられたサブネットマスク。
[Default Gateway] フィールド	ブロック内のIPv4アドレスに関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[Primary DNS] フィールド	このIPv4アドレスのブロックがアクセスするプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] フィールド	このIPv4アドレスのブロックがアクセスするセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 8

ステップ 9 [Next] をクリックします。

ステップ 10 [Create IP Pool] ウィザードの [Add IPv6 Blocks] ページで、[Add] をクリックします。

ステップ 11 [Create a Block of IPv6 Addresses] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[開始] フィールド	ブロック内の最初の IPv6 アドレス。
[Size] フィールド	プール内の IP アドレスの数。
Prefix	ブロック内の IPv6 アドレスに関連付けられたネットワークアドレスプレフィクス。
[Default Gateway] フィールド	ブロック内の IPv6 アドレスに関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[Primary DNS] フィールド	この IPv6 アドレスのブロックがアクセスするプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] フィールド	この IPv6 アドレスのブロックがアクセスするセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 12 [OK] をクリックします。

ステップ 13 [Finish] をクリックして、ウィザードを終了します。

次のタスク

IP プールをサービスプロファイルとテンプレートに含めます。

IP プールへのブロックの追加

IP プールに IPv4 または IPv6 のアドレスのブロックを追加できます。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[LAN]をクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN]>[プール (Pools)]> [Organization_Name] の順に展開します。

ステップ 3 [IP プール (IP Pools)] ノードを展開します。

ステップ 4 目的の IP プールを右クリックし、次のうちの 1 つを選択します。

- [Create Block of IPv4 Addresses]
- [Create Block of IPv6 Addresses]

ステップ 5 適切なダイアログ ボックスのフィールドに入力します。

a) [Create a Block of IPv4 Addresses] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] カラム	ブロックに割り当てる IPv4 アドレスの範囲。
[開始 (From)] カラム	ブロック内の最初の IPv4 アドレス。
[終了 (To)] カラム	ブロック内の最後の IPv4 アドレス。
[サブネット (Subnet)] カラム	ブロック内の IPv4 アドレスと関連付けられたサブネットマスク。
[デフォルト ゲートウェイ (Default Gateway)] カラム	ブロック内の IPv4 アドレスに関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[プライマリ DSN (Primary DNS)] カラム	この IPv4 アドレスのブロックがアクセスするプライマリ DNS サーバ。
[セカンダリ DNS (Secondary DNS)] カラム	この IPv4 アドレスのブロックがアクセスするセカンダリ DNS サーバ。

b) [Create a Block of IPv6 Addresses] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Name] カラム	ブロックに割り当てられている IPv6 アドレスの範囲。
[From] カラム	ブロック内の最初の IPv6 アドレス。
[To] カラム	ブロック内の最後の IPv6 アドレス。
[Prefix] カラム	ブロック内の IPv6 アドレスに関連付けられたネットワークアドレスプレフィクス。

名前	説明
[Default Gateway] カラム	ブロック内の IPv6 アドレスに関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[Primary DNS] カラム	この IPv6 アドレスのブロックがアクセスするプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] カラム	この IPv6 アドレスのブロックがアクセスするセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

IP プールからのブロックの削除

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[LAN] をクリックします。
- ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Root] を展開します。
- ステップ 3 [IP Pools] ノードを展開します。
- ステップ 4 IP アドレスのブロックを削除するプールを展開します。
- ステップ 5 削除する IP アドレス ブロックを右クリックし、[削除 (Delete)] を選択します。
- ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

IP プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Manager は、に割り当てられたアドレスを再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みアドレスは、次のいずれかが起きるまで、vNIC または vHBA に割り当てられた状態のままになります。

- 関連付けられたサービス プロファイルが削除される。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除される。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられる。

Procedure

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[LAN] をクリックします。
- ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [プール (Pools)] > [Organization_Name] の順に展開します。

ステップ3 [IP プール (IP Pools)] ノードを展開します。

ステップ4 削除する IP プールを右クリックし、[Delete] を選択します。

Note デフォルトプールである [ext-mgmt] および [iscsi-initiator-pool] は削除できません。

ステップ5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。